

国際研究集会の御案内

東京大学史料編纂所では、ロシアに所在する日本関係史料の系統的な調査・研究と収集に力を入れています。6月2日に引き続き、今回はロシア国立海軍文書館長らを招聘して本年2回目の国際研究集会を開催します。同館では昨年末に新館長が就任し、また40年ほど前、核戦争に備えてシベリアへ疎開した1.8万ジェーロの貴重史料群が戻ってきたとのこと。当日はこの史料群の概要などをお話いただきます。

日露関係史料をめぐる国際研究集会 part 2

日時:2009年7月1日(水)、14:30~17:00

会場:東洋文化研究所大会議室(3F)

特別報告

▼報告1:ワジム・クリモフ教授(サンクトペテルブルグ国立大学)

「文久遣欧使節団に対するロシアの外交的準備について」

▼報告2: マリナ・マレヴィンスカヤ副館長(ロシア国立海軍文書館)

「駐在武官アポリナリ・N・ヴォスクレセンスキーと日本におけるその活動」

▼報告3:セルゲイ・チェルニャヴスキー館長(ロシア国立海軍文書館)

「シベリア疎開から復帰した貴重史料の概要と日本関係史料について」

(なお、報告に先立ち、研究代表者:保谷より
ロシア所在日本関係史料の調査・研究の歩みをご紹介いたします。)



※終了後、レセプションを予定。

主催/日本学士院・東京大学史料編纂所



連絡先: 科研事務局 03-5841-8411

科学研究費補助金基盤研究(A)「東アジアの国際環境と中国・ロシア所在日本関係史料の総合的研究」(研究代表者:保谷徹)

※本集会は日本学士院による日本関係未刊行史料調査事業(国際学士院連合関連事業)の一環として行われます。

※会場が従来と異なりますのでご注意ください。